

リフラッシュユニット

後続用ユニット

KFA-333形



□ 特 長

- リフラッシュユニットは多入力を1出力にまとめてアナンシエータ回路へ取込むためのもので、4点入力をベースに最大200点まで増設が可能。
- 基本的シーケンスは同一グループの入力に対してリフラッシュ動作を行いますので、次々と発生してくる警報を正確に発信。
- 4点入力を1つのパッケージにユニット化し、シャーシには2ユニット用と6ユニット用を用意。



ア
ナ
ン
シ
エ
ー
タ

— ご使用上の留意点 —

- アナンシエータのリフラッシュユニットを着脱するとき、及びシャーシユニットを交換するときは、電源をOFFにして行ってください。
- 警報入力接点および操作スイッチの配線は原則として、ツイストペア線を使用してください。
- 操作スイッチで不必要なものは、OPENのままご使用ください。
- シャーシユニットの内部配線保護のため、外部電源ラインに5Aのヒューズを挿入してください。
- 後続用アナンシエータ (KFA-330D/330G形、KFA-600のA8、A9、A11) と組合わせて使用してください。

KFA-333形

❖ 製品の構成

リフラッシュユニット(KFA-39形)は、警報入力4点入力に対して1個の出力を出すユニットです。
ユニットはコネクタのプラグイン方式で、1シャーシに6ユニットと2ユニットの実装可能な2種類となっています。

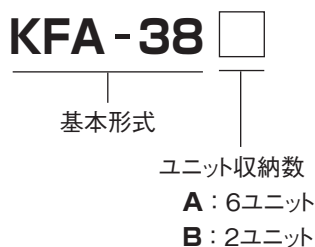
(6ユニット実装時、最大入力数24点)

複数のユニットを組合せる場合は、外部端子台で該当する各ユニット間のコントロール信号部の2系統を接続し、アラームユニットKFA-35Cへの出力は同一グループのALM OUT 1 (Y)のいずれかに接続します。

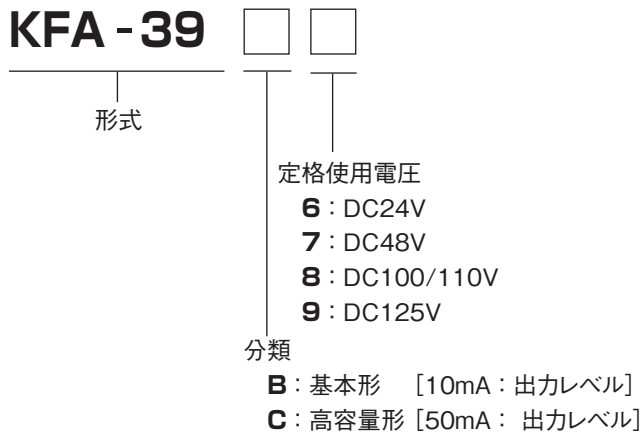
最大50ユニット(最大入力数200点)までの組合せが可能です。

❖ 形式の構成

■ シャーシユニット



■ リフラッシュユニット



● ダミーユニット



アナ
ンシ
エー
タ

❖ 定格・性能

● KFA-333形システム

定格使用電圧	直 流	24V	48V	100V/110V	125V
	許容範囲	定格使用電圧の±10%			
耐環境性	使用温度・湿度範囲	-10~+60°C、RH45~95% (ただし氷結または結露しないこと)			
	保存温度	-20~+70°C (ただし氷結または結露しないこと)			
耐振動	JIS C 0911、ⅢC 4種 1時間				
耐衝撃	JIS C 0912に準拠 (10G、XYZ方向各3回)				
耐ノイズ性	インパルス	幅1μs、150ns、1800V、80Hz			

● シャーシユニット KFA-38形

絶縁抵抗	充電部対シャーシ間	DC500Vメガー50MΩ以上
耐電圧		AC2000V 1分間異常なし

● リフラッシュユニット KFA-39B形

項 目		形 式	KFA-39B6	KFA-39B7	KFA-39B8	KFA-39B9
消費電力(警報出力を除く)			0.5W Max.	1.0W Max.	1.5W Max.	1.7W Max.
警報入力	接点入力	接点、N.O接点、無接点オープンコレクタ“L”(フォトプラ受け)				
	入力電圧		24V	48V	100/110V	125V
	入力抵抗		約8KΩ	約16KΩ	約60KΩ	約70KΩ
	レスポンスタイム*		約 30ms			
警報出力	出力(レベル)		Ic : 10mA、Vceo : 150V			
	出力(パルス)		約 300ms (オープンコレクタ)			

* レスポンスタイム30msは出力OUT2とOUT3に応答する時間で、出力OUT1に対しては350ms以上の入力で応答します。

● リフラッシュユニット KFA-39C形

項 目		形 式	KFA-39C6	KFA-39C7	KFA-39C8	KFA-39C9
消費電力(警報出力を除く)			0.5W Max.	1.0W Max.	1.5W Max.	1.7W Max.
警報入力	接点入力	接点、N.O接点、無接点オープンコレクタ“L”(フォトプラ受け)				
	入力電圧		24V	48V	100/110V	125V
	入力抵抗		約8KΩ	約16KΩ	約60KΩ	約70KΩ
	レスポンスタイム*		約 30ms			
警報出力	出力(レベル)		Ic : 50mA、Vceo : 150V			
	出力(パルス)		約 500ms (オープンコレクタ)			

* レスポンスタイム30msは出力OUT2とOUT3に応答する時間で、出力OUT1に対しては550ms以上の入力で応答します。

❖ 材 質

端子台	TS-135
端子ねじ	炭素鋼 (ニッケルめっき) M3×6
端子台カバー	ポリカーボネート樹脂
プリント基板	ガラスエポキシ 厚さ1.6mm
アラーム/コミュニケーションケース	ポリカーボネート樹脂
シャーシ	みがき鋼板

● 製品重量

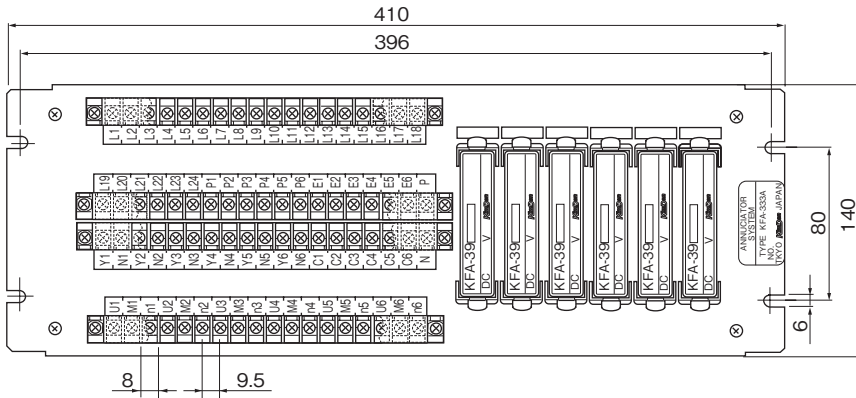
シャーシユニット	
KFA-333A	約 1.7Kg
KFA-333B	約 0.9Kg
リフラッシュユニット	
KFA-39□□	約 100g



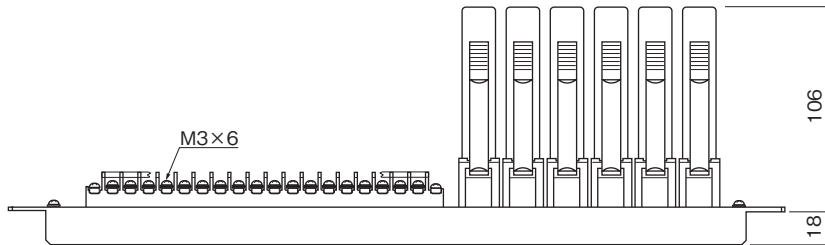
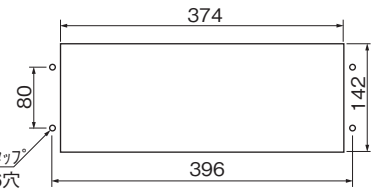
アナ
ンシ
エー
タ

❖ 外形図

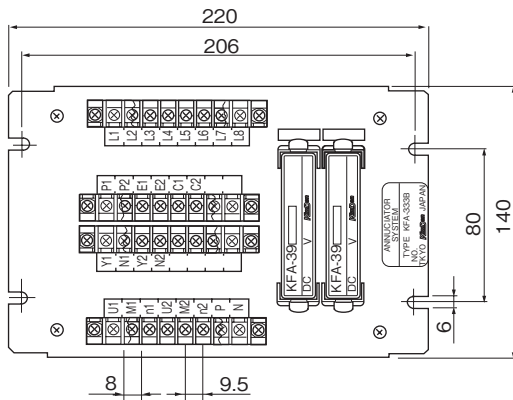
▼KFA-333A形 6ユニット用システム全体図



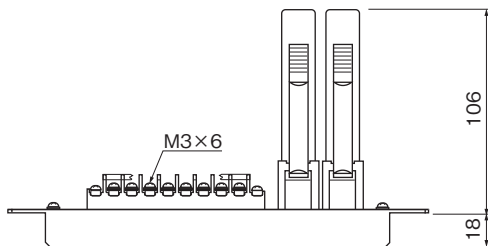
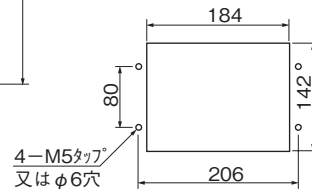
●パネルカット図



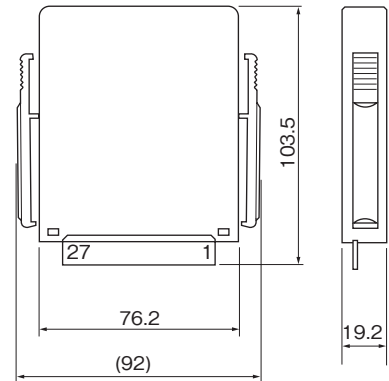
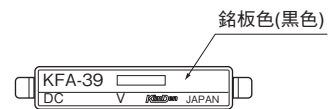
▼KFA-333B形 2ユニット用システム全体図



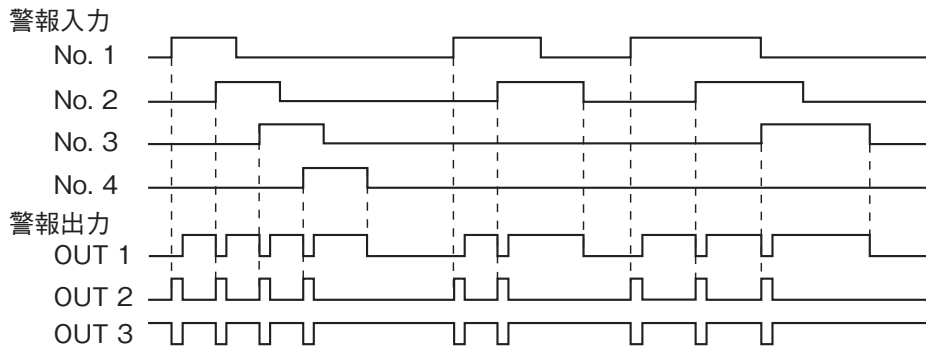
●パネルカット図



▼KFA-39形(後続ユニット)



❖ シーケンスパターン



● アラームユニットおよびコモンユニットの入出力端子番号

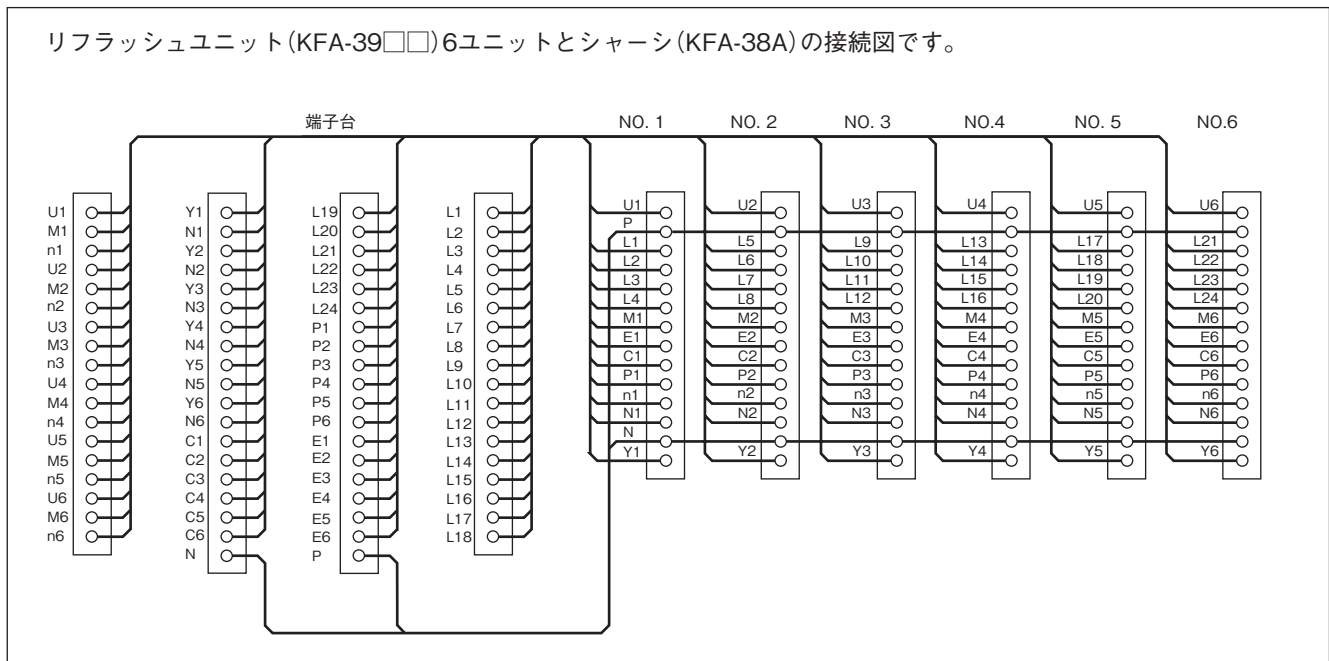
端子番号	記号	機能説明
1	U	警報出力パルス信号(約300ms) 正論理、10mA/150V (KFA-39B□)
	ALM OUT 2	警報出力パルス信号(約500ms) 正論理、50mA/150V (KFA-39C□)
3	P 定格使用電圧	定格使用電圧のプラス極
5, 7, 9, 11	L ALM IN	警報入力は接点または無接点入力(フォトカプラ受け)
13	M	警報出力パルス信号(約300ms) 負論理、10mA/150V (KFA-39B□)
	ALM OUT 3	警報出力パルス信号(約500ms) 負論理、50mA/150V (KFA-39C□)
15	E CONT 1	リフラッシュグループ用信号No. 1
17	C CONT 2	リフラッシュグループ用信号No. 2
19	P	警報入力(4点入力)の外部(ユーザ側)プラス電源(フォトカプラ用)
21	n	警報出力UおよびM用マイナス電源
23	N	警報出力Y(リフラッシュ信号)用マイナス電源(ANN用)
25	N	定格使用電圧のマイナス極
27	Y	警報出力レベル信号(リフラッシュ信号)オープンコレクタ10mA/150V (KFA-39B□)
	ALM OUT 1	警報出力レベル信号(リフラッシュ信号)オープンコレクタ50mA/150V (KFA-39C□) 当信号をANN側F端子に接続します。



ア
ナ
ン
シ
エ
ー
タ

❖ シャーシユニット接続図

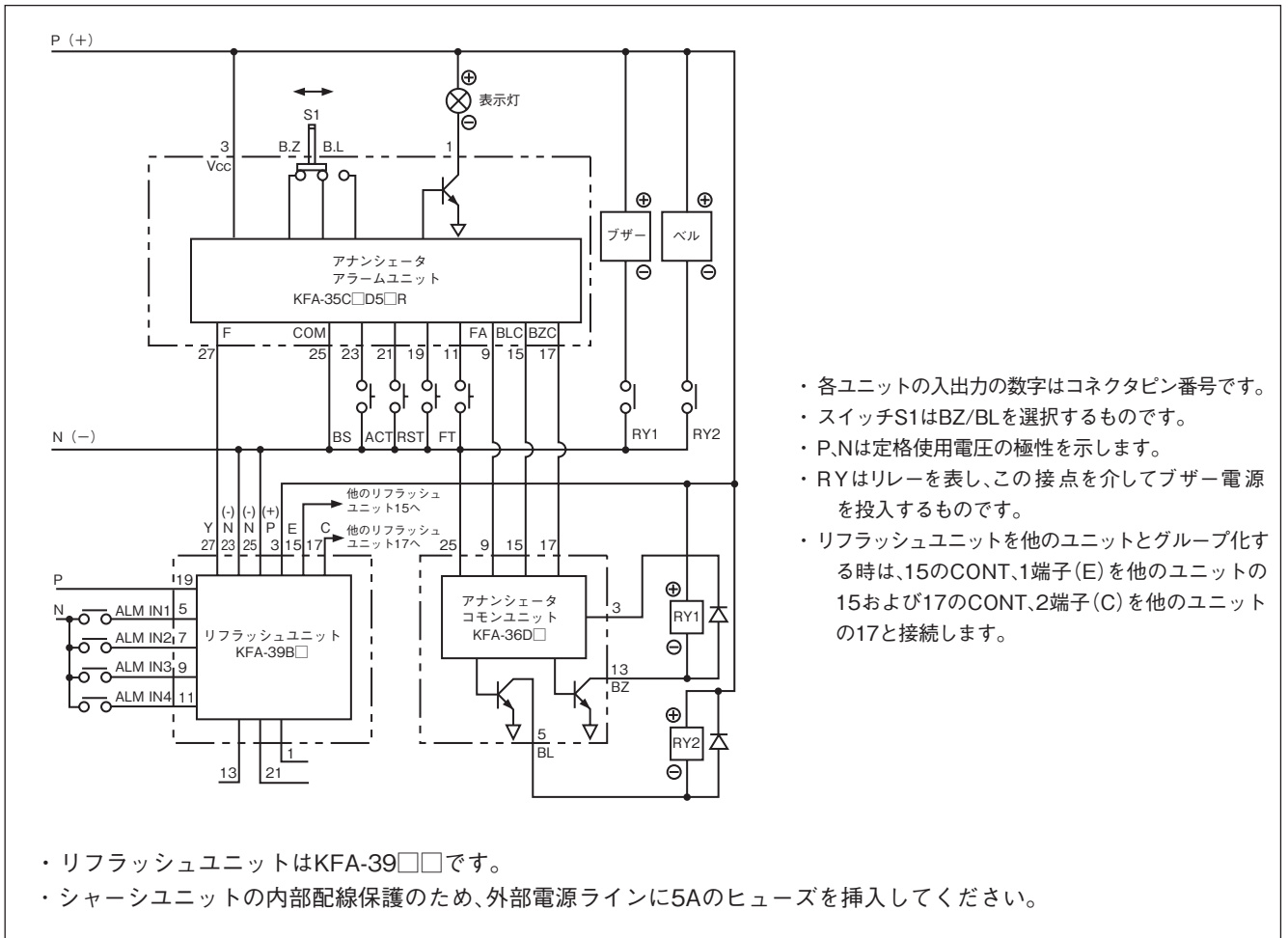
リフラッシュユニット(KFA-39□□)6ユニットとシャーシ(KFA-38A)の接続図です。



アナライザー

❖ システム接続図

(KFA-330D/330Gとのシステム接続図)



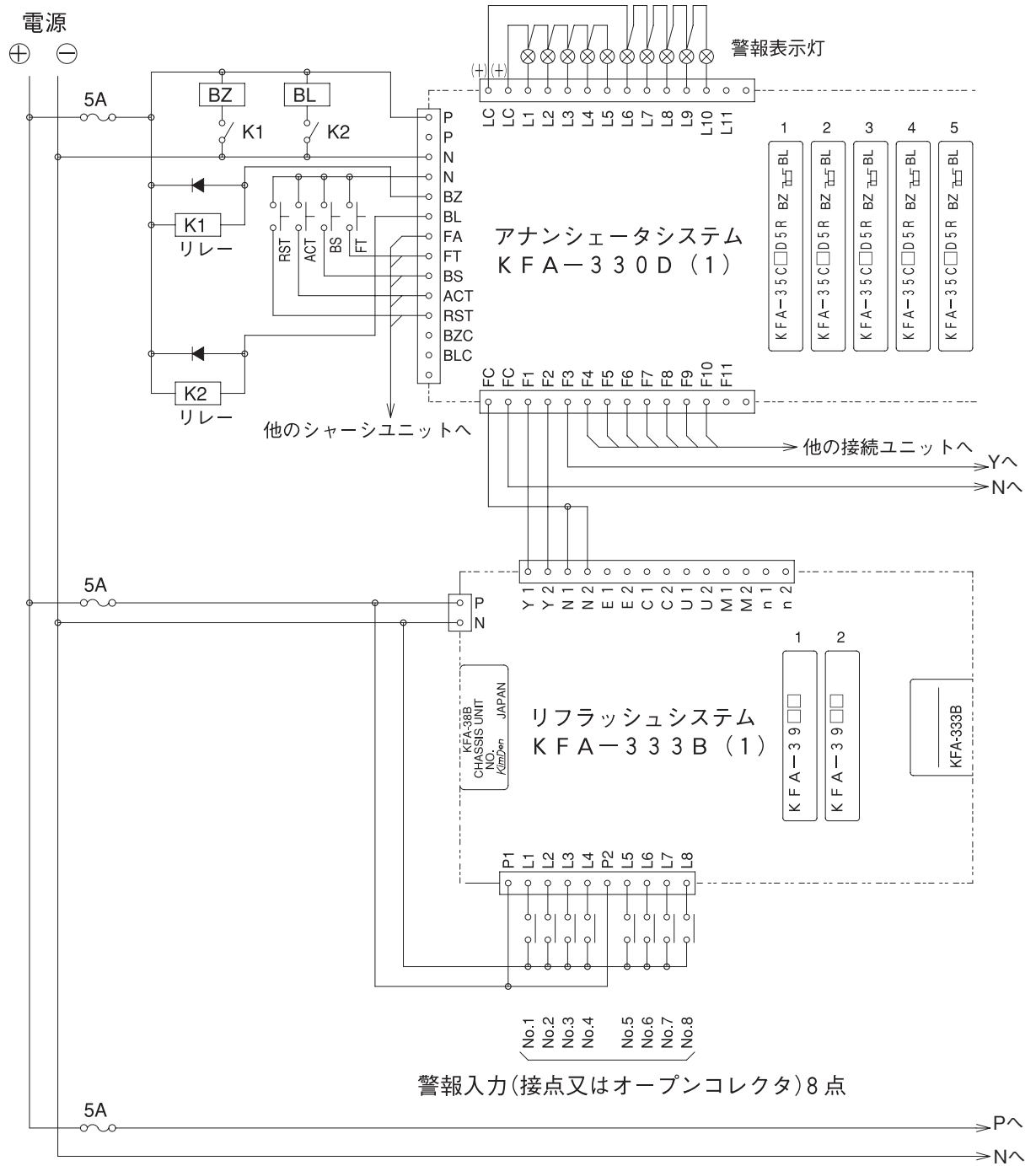
- ・ 各ユニットの入出力の数字はコネクタピン番号です。
- ・ スイッチS1はBZ/BLを選択するものです。
- ・ P、Nは定格使用電圧の極性を示します。
- ・ RYはリレーを表し、この接点を介してブザー電源を投入するものです。
- ・ リフレッシュユニットを他のユニットとグループ化する時は、15のCONT、1端子(E)を他のユニットの15および17のCONT、2端子(C)を他のユニットの17と接続します。



ア
ナ
ン
シ
エ
ー
タ

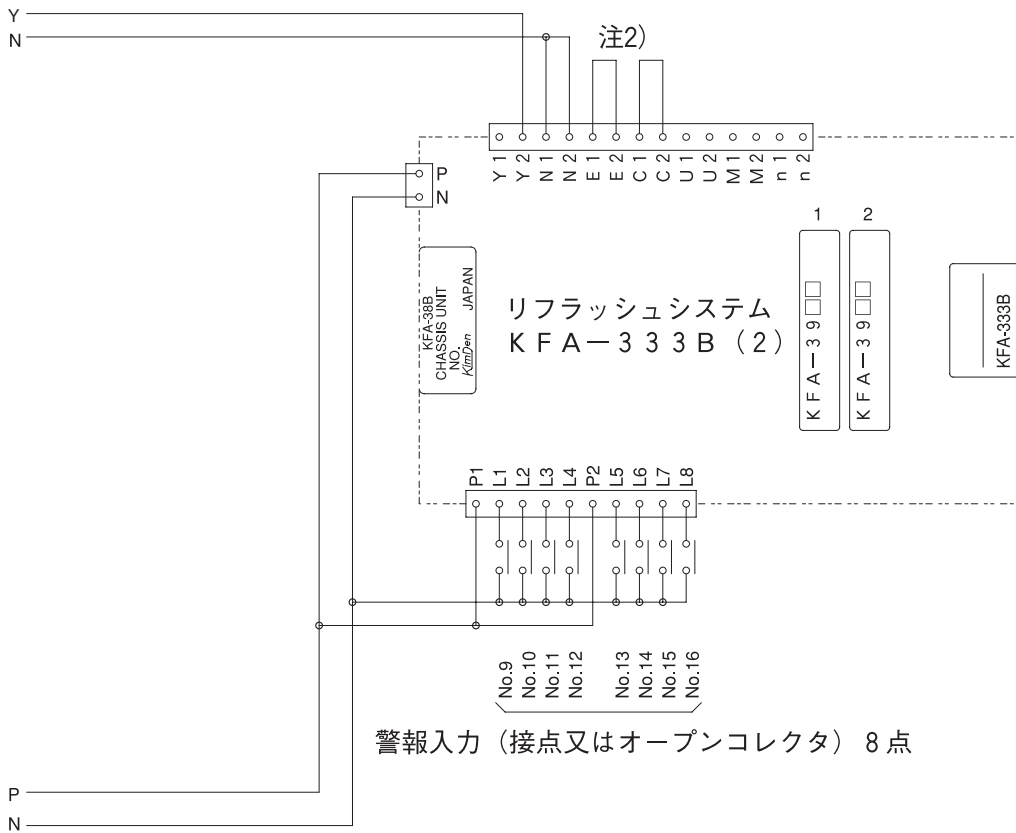
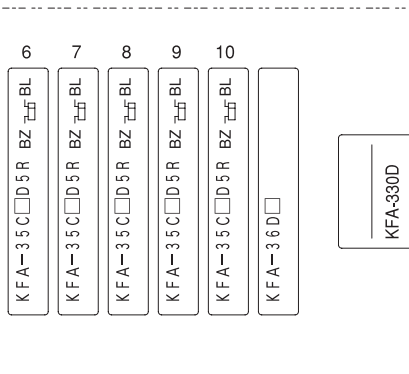
❖ システム接続図 (例)

(KFA-330D/333Bとのシステム接続図)



アナンシエータ

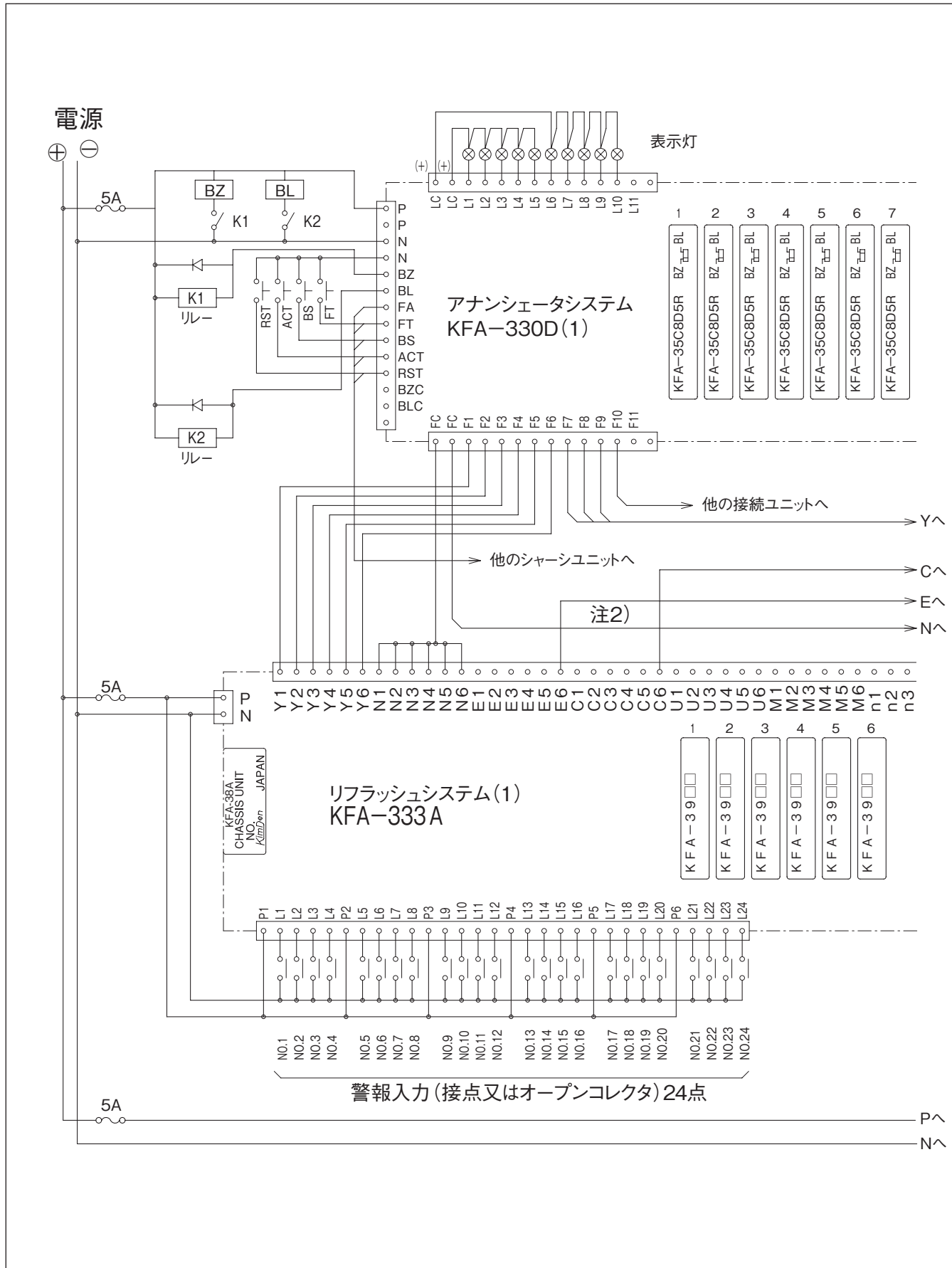
- 注1) リフラッシュユニットU1,U2は、パルス出力信号(正) } KFA-39B□ : 0.3sec
 リフラッシュユニットM1,M2は、パルス出力信号(負) } KFA-39C□ : 0.5sec
- 注2) リフラッシュユニット1,2は接続組合せにより最大200点入力 1出力方式に組合せ可。
 ユニット組合せ例 シャーシユニット(2)側
 ・ユニット1と2グループ化
 E1, E2ジャンパー C1, C2ジャンパー
- 注3) リフラッシュユニット1,2は4入力 1出力方式となっており、4×2ユニットで
 1シャーシ最大8点となります



アナংশエータ

❖ システム接続図 (例)

(KFA-330D/333Aとのシステム接続図)

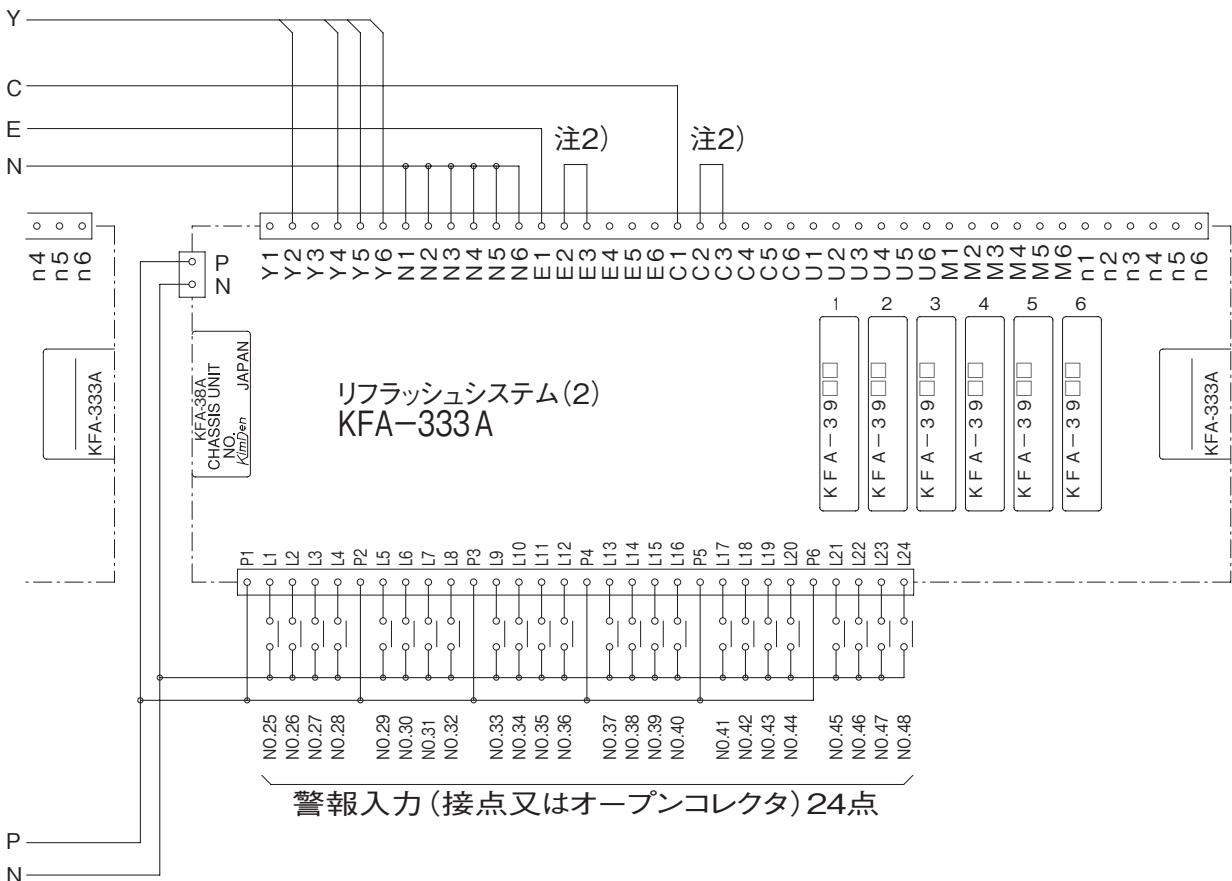
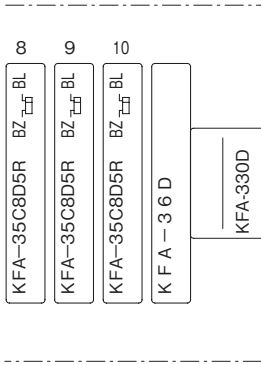


アナンシエータ

注1)リフラッシュユニットU1～U6は、パルス出力信号(正) } KFA-39B□ : 0.3sec
 リフラッシュユニットM1～M6は、パルス出力信号(負) } KFA-39C□ : 0.5sec
 注2)リフラッシュユニット1～6は接続組合せにより最大200点入力 1出力方式に組合せ可。

- ユニット組合せ例
- ◎シャーシユニット(1)側
 - ・ユニット1～5単独
E1～E5単独、C1～C5単独
 - ◎シャーシユニット(2)側
 - ・ユニット4～6単独
E4～E6単独、C4～C6単独
 - ◎シャーシユニット(2)側
 - ・ユニット2と3グループ化
E2、E3ジャンパー C2、C3ジャンパー
 - ◎シャーシユニット(1)側ユニット6と
シャーシユニット(2)側ユニット1をグループ化
シャーシユニット(1)側E6とシャーシユニット(2)側E1をジャンパー
シャーシユニット(1)側C6とシャーシユニット(2)側C1をジャンパー

注3)リフラッシュユニット1～6は4入力1出力方式となっており、4×6ユニットで1シャーシ最大24点となります。



アナンシエータ